

**中期経営計画**  
(平成 26～29 年度)

## 1 趣旨

中期経営計画は、「経営ビジョン」で掲げた経営理念及び経営コンセプトの取組みの方向性をより明確化し、施策の展開を図ることを趣旨としています。

## 2 計画期間

計画期間は、平成 26 年度から平成 29 年度までとします。

## 3 経営目標

経営ビジョンを達成するため、以下の 2 点を経営目標とします。【別添資料 1 参照】

### (1) 着実な償還

着実な償還は、将来にわたり強固な経営基盤を構築することで達成が可能になると考えています。

そのため、整備計画の枠組みに基づく供用区間の償還計画（平成 26 年 3 月に国土交通大臣から得た料金認可。以下「料金認可」と言います。）を当該中期経営計画期間中、確実に実行していくことを目標とします。

### (2) 広島高速道路への転換促進

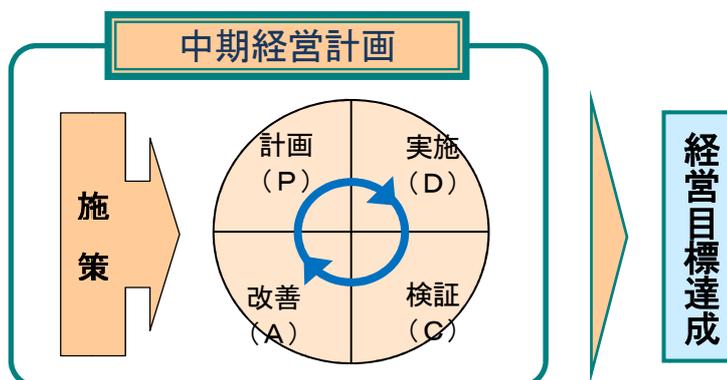
広島高速道路を利用されるお客様に安全・安心で快適な道路サービスを提供し、広島高速道路の利便性・快適性が社会全体に認知されることで、さらに多くの皆様にご利用いただけると考えています。また、それにより、広島都市圏の都心部へ流入する道路交通を広島高速道路へ転換させ、都心部の集中交通量及び渋滞損失時間の減少を図り、活力とにぎわいのある広島都市圏への発展につながるものと考えています。

そのため、料金認可における 1 日あたりの交通量の計画値を上回ることを目標とします。

## 4 計画の取り組み

計画期間中は、経営コンセプトに基づく施策について、重点施策別の取組項目を定め、年度ごとに取組目標を設定し、「P（計画）」「D（実施）」「C（検証）」「A（改善）」サイクルを継続して、経営目標達成に向けた取り組みを実施していきます。【別添資料 2 参照】

〔計画の取組みイメージ〕



## 5 経営コンセプトに基づく施策展開

### (1) 施策展開の体系

#### 【経営コンセプト1】

##### 質の高い高速道路ネットワークの提供

～道路サービスのレベルアップと持続的かつ効率的な提供

#### 重点施策

- ① 未整備区間の整備推進等
- ② 適切な維持管理・更新
- ③ 事業継続体制の強化

#### 【経営コンセプト2】

##### お客様に満足していただける道路サービスの提供

～安全・安心のもと、利用しやすい道路サービスの提供

#### 重点施策

- ① 交通安全対策の徹底
- ② 適切な道路情報の提供
- ③ 更なる利用促進の実施

#### 【経営コンセプト3】

##### 強固な経営基盤の構築

～効率的な事業運営と社会から信頼される組織づくり

#### 重点施策

- ① 徹底したコスト縮減
- ② 着実な債務償還の推進と採算向上の方策の検討
- ③ コンプライアンス意識の徹底と人材育成

## (2) 重点施策

### 【経営コンセプト1】

#### 質の高い高速道路ネットワークの提供

##### ～道路サービスのレベルアップと持続的かつ効率的な提供

道路サービスをよりレベルアップさせるため、未整備区間の整備検討を進めます。

道路サービスを持続的かつ効率的に提供することにより、将来にわたって広島高速道路を安全に安心して利用していただけるよう、道路構造物・設備の適切な維持管理に努めます。

#### ① 未整備区間の整備推進等

- ◇ 事業中路線である高速5号線については、引き続き出資団体である広島県・広島市と連携し、地域住民の安全・安心の確保に努めながら、早期完成に向けて最大限取り組みます。
- ◇ 広島高速道路ネットワークと広島都市圏の自動車専用道路等とが一体となり、交通の円滑化や利便性の向上、防災の強化などネットワーク機能が発揮できるよう、暫定整備区間の4車線化や未整備ランプの整備、高速4号線の山陽自動車道への接続など、未着手区間の整備についても、採算の可能性などを総合的に勘案しながら検討を進めます。

#### ② 適切な維持管理・更新

- ◇ 道路構造物については、定期点検を計画的に実施するとともに、点検により発見した損傷を判定し、優先順位をつけて計画的に補修を行うなど、適切かつ効率的な維持補修を行います。  
また、広島高速道路を将来にわたって健全な状態で管理し、お客様に安全に安心してご利用いただくため、長期的視点での維持管理の在り方（道路構造物の長寿命化等）を検討するための有識者委員会を設置し、関係機関と調整しながら、長期維持管理、大規模修繕計画の策定に取り組みます。
- ◇ 道路設備については、ライフサイクルコストの低減を目指し、点検・補修・整備により可能な限り延命を図りつつ、更新計画を策定します。また、更新時は新技術を取り入れて機能向上に取り組みます。

#### ③ 事業継続体制の強化

- ◇ 大規模災害時であっても、公社として重要な業務を継続することにより、広島高速道路が広島都市圏の緊急輸送道路としての機能を速やかに発揮できるよう、事業継続計画\*を策定するなど、事業継続体制を強化します。

※事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）

：大規模災害時に重要業務を中断させないこと、また万一事業活動が中断した場合に、目標復旧時間内に重要な機能を再開させるための計画

《関係機関との災害対策合同訓練 例》



【経営コンセプト2】

お客様に満足していただける道路サービスの提供

～安全・安心のもと、利用しやすい道路サービスの提供

広島高速道路を利用されるお客様に、24時間365日安全・安心で快適な道路サービスを提供し、お客様の利便性を高め満足度の向上に努めます。

① 交通安全対策の徹底

- ◇ これまで発生した交通事故の状況や新規供用による交通の変化などを踏まえ、事故原因を分析し、ハード（事故多発地点対策等）・ソフト（安全運転啓発活動等）両面から必要な交通安全対策を実施します。
- ◇ 雨天時の走行性や視認性の向上、走行騒音の低減に向けて、高機能舗装を採用していきます。
- ◇ 道路上での二次災害を防止するため、事故・故障車等処理対応時の路上作業時間の短縮に努めます。
- ◇ 道路構造物に大きなダメージを与える重量違反車両について、関係機関と連携し排除に努めます。
- ◇ お客様がより安全・安心に走行できるよう、広島高速道路特有の走行上の注意点などについて、公社ホームページなどを活用し積極的な情報発信を実施します。

《安全運転啓発活動（ホームページ掲載）例》

**事故が多発しています**  
～安全のため制限速度を守って走行してください～

広島高速1号線と山陽自動車道（上り線）の接続区間（ランプ橋）で事故が多発しています。ここでは、今年度（14日～14日）までに7件の事故発生が報告されており、事故原因として「雨天時の走行性や視認性の向上」などが挙げられています。

ランプ橋では、車線が交差する区間と比べてカーブが浅くなっているため、制限速度は余裕よりも低い**抑速区間**となっています。

事故は自身の安全を脅かすだけでなく、道路の通行を妨げ、他の道路利用者にも影響を及ぼします。

貴社でも、常に実行している様々な安全対策を実施しておりますが、事故を防止するためには各ドライバーの協力が必要です。

**制限速度を厳守し交通事故の防止にご協力ください。**

安全対策①：事前点検  
安全対策②：雨天時の走行性向上  
安全対策③：抑速区間の設定

**ご注意ください**

高速道路の本線やランプ橋での**Uターンや逆走は違法行為です**  
(違法通行車両にご注意ください)

目撃された場合は情報提供をお願いします。☎ #8110 (道路ダイヤル)

1. Uターン  
2. 逆走  
3. 逆走  
4. Uターン

大変危険の行為です！

## ② 適切な道路情報の提供

- ◇ お客様が目的地まで安心・快適に到着できるよう、道路案内標識や道路情報板などによるわかりやすい情報提供を目指します。
- ◇ お客様等から寄せられるご意見ご要望については、その内容を十分に検討し、積極的に事業運営に反映していきます。
- ◇ 道路サービスをより向上させるため、道路モニター制度などお客様の声を反映する仕組みづくりを目指します。
- ◇ 情報提供や交通管理の高度化によるサービス向上を目指して、ITSスポットサービスの調査・研究を進めます。

## ③ 更なる利用促進の実施

- ◇ 現行の料金・割引における利用特性に関する分析を進め、社会経済情勢の変化等に対応し、他の高速道路や公共料金などの動向にも注視しつつ、次世代への負担を残さない範囲で、お客様にとってより利用しやすい料金の実現に向けて引き続き取り組みます。
- ◇ 広島高速道路の快適性・利便性を広く皆様に理解していただくことを目指し、ホテルやレンタカー会社等での広島高速ナビマップの配布や、デジタルサイネージ（電子看板）によるプロモーションビデオの放映、広島市内外での各種イベント等への参加など、積極的かつ効果的な広報活動による更なる利用促進に取り組みます。
- ◇ 温品パーキングエリア（以下「温品PA」と言います。）において、美化対策の推進や広報・情報発信コーナーの充実、お客様ニーズに合った自動販売機の運営に取り組み、更なる有効活用を目指します。
- ◇ 地域の活性化を図るため、高架下の計画的な有効活用を検討します。

《各種イベントへの参加・展示》



《デジタルサイネージの活用》



### 【経営コンセプト3】

#### 強固な経営基盤の構築

##### ～効率的な事業運営と社会から信頼される組織づくり

常にコスト縮減を意識し、社会経済情勢の変化にも迅速に対応した事業運営を行うことで着実な債務償還を進めるとともに、引き続き採算向上の方策を検討します。

コンプライアンス意識を徹底するとともに、将来にわたって組織の活力を維持増進していくことができる人材を育成します。

#### ① 徹底したコスト縮減

- ◇ 道路構造物の維持管理を合理的かつ効率的に実施するため、新工法や新技術等の積極的な採用を進めます。
- ◇ 工事や業務の発注段階において、仕様内容等を事前に十分審議し、コスト縮減を着実に進めます。
- ◇ 予算費目毎に削減目標を設定し、それに向けて計画的な予算執行を図るため、定期的な執行管理と適切な見直しを行います。
- ◇ 他団体の資金調達事例調査など、より良い資金調達手段を検討し、市場動向を注視しながら効率的な資金調達を実施します。
- ◇ 道路サービスの提供を十分に発揮できる適切な組織体制や効率的な業務配置への見直しを引き続き実施します。

#### ② 着実な債務償還の推進と採算向上の方策の検討

- ◇ 広島高速道路の利用促進等に積極的に取り組むことにより、着実に債務の償還を進めます。
- ◇ 道路構造物の長寿命化等の対策を見据えた採算確保の方策について、他団体や関係機関の動向を注視しつつ検討します。

#### ③ コンプライアンス意識の徹底と人材育成

- ◇ 全役職員のコンプライアンス意識を徹底し、高い倫理観と透明性、公平性をもって職責を果たせる組織づくりを目指します。
- ◇ 計画に基づく各種研修や先進的取り組みを行っている企業・団体との交流等により、職員の能力開発を進め、将来にわたって組織の活力を維持増進していくことができる人材を育成します。